

第251回 京都歩こう会コース案内

リーダー 稲原 昇

日 時:平成29年7月28日(金)

集 合:叡山本線・鞍馬線 鞍馬駅 10時出発

コース:鞍馬・木の根道を行く ☆☆

◎鞍馬寺入山料:300円徴収します

・仁王門～多宝塔(ケーブル 200mで200円)

距 離:6.2km

行 程:叡山電鉄・鞍馬駅 ⇒ 由岐神社 ⇒ 鞍馬寺金堂 ⇒ 木の根道(昼食) ⇒ 奥の院魔王殿 ⇒
 |← WC 0.8 →| ← WC 1.3 →| ← WC 1.0 →| ← WC 1.0 →
 貴船神社 ⇒ 叡電・貴船口(解散)
 →|← WC 2.1 →|

(単位:km)

【見どころ】

- 由岐神社:平安京遷都のころ北方鎮護、鞍馬一帯の土神として建築された。大巳貴神(別称 大国主命)、彦名神などを祭る。(鞍馬の火祭)で知られ、豊臣秀頼が再建した割拝殿は中央部を通路とした桃山建築で必見。
- 鞍馬寺・鞍馬弘教総本山、770年(宝亀1年)鑑真の高弟鑑禎が毘沙門天を祀ったことに始まる。毘沙門天は北方守護の仏であることから、平安遷都後には都の北方鎮護の寺となって栄えた。本殿金堂、多宝塔などは近年再建され鉄筋造り。本尊は護法魔王尊、毘沙門天、千手観世音。昭和24年に鞍馬弘教総本山となった鞍馬寺は、この3身を一体として「尊天」と称する独特の教養をもつ。本殿金堂の左手の道を行けば、霊宝殿がある。本殿裏から奥の院への山道には、牛若丸の遺跡がある。
- 木の根道:鞍馬寺の本殿～貴船側にある西門までの老杉の木の根が露出した山道で、この奇観は神秘的で、今にも天狗が出そうなハイキングコース。
- 貴船神社:神武天皇の母とされる玉依姫が難波から「黄船」に乗って淀川・賀茂川を経て貴船川に沿うこの地に上陸し、祠を営んだのが始まり。平安遷都後は、賀茂川の水源地にあることから、治水の神として朝廷から崇め、降雨止雨の祈願がたびたび行われた。



鞍馬寺金堂前



鞍馬寺奥の院入口



貴船神社の総本宮

【次回第252回ご案内】

日 時:平成29年8月25日 (第4金曜)

コース:保津峡～清滝～柵ノ尾 8.0km

集 合:JR嵯峨野線 保津峡駅 午前10時 出発

【次回下見会のご案内】

日 時:平成29年8月4日 (第1金曜)

コース:清荒神～奥の院～山中寺 距離:6.0km

集 合:阪急宝塚線 清荒神駅 午前10時 出発